

第1学年1組 音楽科学習指導案

令和6年10月16日(水) 第5校時

児童数

32名

1 題材名 せんりつでよびかけあおう(6時間扱い)

2 題材について

(1) 児童の実態

※当日配布

(2) 題材について

本題材では、「旋律の呼びかけ合い」をテーマに、歌唱、音楽づくり、鑑賞の学習をとおして、旋律で呼びかけ合うよさや面白さを感じ取ったり、旋律のつなげ方に思いをもって簡単な旋律をつくったりすることをねらいとしている。

本時の学習「こうしんきょく」では、旋律の呼びかけ合いに着目し、呼びかけとこたえが生み出す曲のよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を見通して聴く力を育てていきたい。そのために、楽曲の基となる物語を知って背景を想像したり、使われている楽器などにも注目したりしながら曲全体を味わわせたい。その際に、体を動かす活動をとおして、友達の動きなどからも曲の聴き方や味わうための考え方など、自分では気づけなかった感じ方を知り、他の楽曲を味わうことへもつなげていけるよう学習を深めたい。

第1次で扱う歌唱「やまびこさん」では、反復による呼びかけとこたえが中心となるため、呼びかけとこたえにもさまざまな種類があることを理解できるよう、鑑賞教材を第2次として扱う。第3次では歌唱の模倣や鑑賞での学習をとおして、旋律あそびの学習で、鍵盤ハーモニカによる音楽づくりをする際の幅を広げ、学習を深めさせたい。

(3) 学習指導要領との関連について

本題材では、曲想に着目し、学習指導要領のA表現（1）歌唱ア、イ、ウ（イ）、
（3）音楽づくりア（イ）、イ（イ）、ウ（イ）、B鑑賞ア、イを指導するものとする。

3 題材の目標

- (1) 曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気づくとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発声に気を付けて歌う技能や、呼びかけとこたえを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 ＜知識及び技能＞
- (2) 音色、旋律、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ＜思考力、判断力、表現力等＞
- (3) 呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、さまざまな音楽にみられる旋律の呼びかけ合いに親しむ。 ＜学びに向かう力、人間性等＞

4 教材について

- (1) 「やまびごっこ」 おうちやすゆき 作詞／若月明人 作曲
- (2) 「こうしんきょく」 チャイコフスキー 作曲

5 学習指導要領の指導事項と【共通事項】との関連及び具体的な学習活動

指導事項	歌唱ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。 歌唱イ 音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くこと。 歌唱ウ（イ） 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。 音楽づくりア（イ） どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつこと。 音楽づくりイ（イ） 音やフレーズのつなげ方の特徴 音楽づくりウ（イ） 音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能。 鑑賞ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。 鑑賞イ 曲想と音楽の構造の関わりについて気付くこと。	
〔共通事項〕	ア	音色、旋律、強弱
	イ	呼びかけとこたえ


<p>具体的な 学習活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの声を聴きながら、二つの組に分かれて呼びかけ合って歌ったり、「まねっこあそび」を通して即興的な呼びかけ合いを楽しんだりする。 ・二つの旋律の交代に着目し、旋律で呼びかけ合うよさや面白さを感じ取りながら聴く。 ・「まねっこあそび」を応用して、三つの音を用いてつくった旋律を友達とまねしたり、つなげたりして音楽をつくる。
----------------------	---

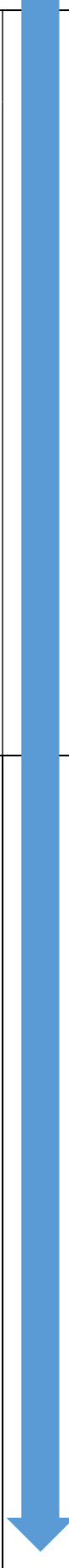
6 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 技 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 (歌唱)</p> <p>② 知 曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わりについて気づいている。 (鑑賞)</p> <p>③ 知技 思いに合った表現をするために必要な、呼びかけやこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能の身に付けて音楽をつくっている。 (音楽づくり)</p>	<p>思① 音色、旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 (歌唱)</p> <p>思② 音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 (鑑賞)</p> <p>思③ 旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。 (音楽づくり)</p>	<p>態① 呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習に取り組もうとしている。 (歌唱、鑑賞、音楽づくり)</p>

7 指導と評価の計画（全6時間）

※丸数字・・・全員の学習状況を記録に残す場面

時	◆ねらい ○学習内容 ・ 学習活動	○指導上の留意点	評価規準		
			知技	思	態
1	<p>◆互いの声を聴きながら、二つの組に分かれて呼びかけ合って歌ったり、「まねっこあそび」を通して即興的な呼びかけ合いを楽しんだりする。</p> <p>○呼びかけとこたえの表現を楽しみながら、曲想との関わりに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまびこ」について知っていることを話し合う。 ・範唱を聴きながら、口ずさんだり一緒に歌ったりする。 ・呼びかける側（人間）とこたえる側（山びこ）に分かれて交互唱する。 <p>○互いの声を聴き合って、「まねっこあそび」をして楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び方を知り、呼びかけをまねて遊ぶ。 ・リーダーの呼びかけを全員でまねて遊ぶ。 ・ペアになって、いろいろな言葉を「やまびこ」のようにまねて遊ぶ。 	<p>○子供の発言を基に、やまびこについて簡単な説明をする。</p> <p>○呼びかける側とこたえる側に分かれて歌っていることに気づくようにする。</p> <p>○呼びかけ合って歌うとどんな感じがするかを聞き、呼びかけ合う面白さに気づくようにする。</p> <p>○「まねっこあそび」の面白さに気づくようにする。</p> <p>○「やっほー」や「おーい」のほかに、「おはよう」「こんにちは」など短い言葉を例に挙げたり、子供たちの発想を取り上げたりしながら、楽しく活動できるようにする。</p> <p>○声の感じを変えてみるよう助言する。</p>		<p>① 観察（表情・行動）・発言・聴取</p>	<p>① 観察（表情・行動）・発言</p> 
2	<p>○歌い方や声の出し方を工夫して、呼びかけ合いを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまびこのように、声の強弱を工夫しながら交互唱する。 ・呼びかける側の歌い方や体の動き、声の表情をまねする。 ・四人グループに分かれて、強弱や声の表情を工夫して歌う。 ・グループごとに工夫した表現の仕方や声の出し方を発表する。 	<p>○旋律をよく聴き、正しい音程を確認しながら歌うように促す。</p> <p>○互いの声を聴きながら、強弱の付け方や声の表情、声の出し方を工夫して楽しいやまびこを表現するように促す。</p> <p>○互いの発表を聴き合うことで、面白さを感じ取らせる。</p>	<p>① 技聴取</p>		

<p>3 本時</p>	<p>◆二つの旋律の交代に着目し、旋律で呼びかけ合うよさや面白さを感じ取りながら聴く。</p> <p>○全体の曲想を感じ取って聴く。 ・場面を想像しながら聴く。 ・音楽を聴いて、気づいたことや感じたことを発表する。</p> <p>○呼びかけ合う旋律を口ずさみながら、楽器の音色を感じ取って聴き、曲想との関わりに気づく。 ・呼びかける旋律とこたえる旋律をそれぞれ歌う。 ・呼びかける旋律とこたえる旋律に分かれて、旋律を口ずさんだり演奏のまねをしたりしながら聴く。</p>	<p>○「くるみわり人形」のどのような場面で演奏される曲なのかを紹介する。 ○音楽のどのような部分に気づいたのか、どの部分からそう感じたのかを部分的に聴いて確認する。</p> <p>○図形楽譜を示し、指でたどったり、旋律を口ずさんだりしながら、それぞれの旋律の特徴を捉えられるようにする。 ○「呼びかけとこたえ」のしくみで交互に演奏されていることに気づけるようにする。</p>	<p>② 知 観 察 (表 情 ・ 行 動) 、 発 言</p>		
<p>4</p>	<p>○呼びかけ合う旋律のよさや面白さ、曲の美しさを楽しんで聴く。 ・前時の学習を思い出しながら旋律の呼びかけ合いに気をつけ、音楽に合う体の動きを考えて曲全体をとおして聴く。 ・音楽を聴きながら「呼びかける旋律」と「こたえる旋律」それぞれの旋律に合わせて体を動かしながら、呼びかけ合いを楽しんで聴く。 ・曲全体を通して聴き、曲の特徴から想像したり、教科書の挿絵を参考に気づいたりしたことを発表する。 ・「呼びかけ合い」のよさや面白さについて振り返り、自分が思ったことをワークシートに記入する。</p>	<p>○堂々と歩いたり、スキップで軽やかに進んだりするなど、「呼びかけとこたえ」の面白さを体の動きを通じて感じ取るようにする。</p> <p>○音楽をよく聴き、「呼びかけとこたえ」の仕組みで交互に演奏していることに気づけるようにする。</p> <p>○子供の発言を、聞き取ったこと(楽器の音色や旋律の呼びかけ合いなど)と、感じ取ったこと(曲の感じなど)に分けて板書する。</p>	<p>② 観 察 (表 情) 発 言 ・ ワ ー ク シ ー ト</p>		

5	<p>◆「まねっこあそび」やよびかけとこたえの学習を応用して、3つの音を用いてつくった旋律を友達とまねしたり、つなげたりして音楽をつくる。</p> <p>○ド、レ、ミ、ファ、ソの中から3つの音を選んで旋律をつくり、つくった旋律を使ってまねっこしたりつなげたりして、その面白さに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて、リズム打ちをする。 ・全体で選んだ音の高さを表しながら、階名唱して確認する。 ・ド、レ、ミ、ファ、ソの中から3つの音を選び、リズムに合わせて旋律をつくる。 ・それぞれがつくった旋律を全員で階名唱したり、鍵盤ハーモニカで演奏したりして、まねっこする。 ・つくった旋律を使って、二人組でお話するようにつなげて面白い組合せをつくり、演奏する。 	<p>○リズムに合わせて、「タンタンウン」と唱えながら、リズム打ちをするように声掛けをする。</p> <p>○ドレミ風船を指さしながら、「ドレミ・」「ミドソ・」など、順次進行や跳躍進行、同じ音を続けるなどの例を示して階名唱する。</p> <p>○鍵盤ハーモニカで音を確認したり、デジタル教科書のリズム枠に音を入れたりして試しながら、自分の気に入った旋律をつくるように助言する。</p> <p>○つくった旋律を模倣するときは、階名唱してから演奏するようにさせる。</p>	③ 知技 観察（表情・行動）・発言・聴取		
6	<p>○呼びかけ合うような旋律になるように、つくった旋律のつなげ方について思いをもってつくり、聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三人組になり、教科書を参考にして、つくった旋律を二人ずつつなげる。 ・つくった旋律のつなげ方を考え他のグループと聴き合う。 ・グループごとに組み合わせた旋律を全員の前で発表し、互いのよいところを認め合う。 <p>○本題材の学習のまとめとして、「呼びかけ合い」のよさや面白さについて自分が思ったことを伝え合う。</p>	<p>○呼びかけ合うような旋律になるように、しりとりやまねっこみたいにつなげる方法を例として示す。</p> <p>○子供たちが組み合わせた旋律に対して、つなげ方の特徴を価値づけ、全体でそのよさや面白さを共有する。</p>	③ 観察（表情・行動）・発言・聴取	③ 観察（表情・行動）・発言・聴取	① 観察（表情・行動）・発言

8 本時の学習指導（3／6時）

(1) 目標 ・曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わりについて
 気づく。 <知識及び技能>

(2) 展開

○学習内容 ・学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・今月の歌「花束をあなたに」を歌う。 ・常時活動「まねっこあそび」を行う。 <p>○全体の曲想を感じ取って聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行進曲」を聴き、気づいたことや感じたことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>音楽のひみつ (音楽を形づくっている要素) 『音色・せんりつ』</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○やわらかく響く声の出し方に気をつけながら歌えるように声をかけ、楽しい音楽の雰囲気づくりをする。 ○前時の学習を想起し、言葉や音をまねてあそぶ活動に取り組むことで、呼びかけとこたえの学習につながるようにする。 ○「くるみわり人形」のどのような場面で演奏される曲なのかを簡単に紹介して、イメージをもたせ、楽器の音色や旋律に気をつけて楽曲全体を味わって聴くことができるようにする。 ○児童の発表を聞き、音楽を部分的に聴くなどしながら、児童の気づきをみんなで確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 2つの旋律が呼びかけ合う面白さを感じながら聴こう。 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ○呼びかけ合う旋律を口ずさみながら、楽器の音色を感じ取って聴き、曲想との関わりに気づく。 ・呼びかける旋律の特徴をつかむ。 ・こたえる旋律の特徴をつかむ。 ・呼びかけとこたえの旋律が交互に出てくることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>音楽のひみつ (音楽を形づくっている要素) 『呼びかけとこたえ』</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○本時のまとめをする。 ○振り返りをする。 ・次時について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の図形楽譜を見て、指でなぞったり口ずさんだりしながら旋律の特徴に気づかせる。 ○呼びかけ合っている楽器の音や旋律に気をつけて聴かせ、主な旋律楽器（トランペット、ヴァイオリン）のまねをしてみることで、それぞれの旋律が呼びかけ合って交互に演奏されているという音楽の仕組みに気づかせる。 ○どちらの旋律かを考えて指さしたり、2つのグループに分けて旋律を歌ったりして、音楽の仕組みを確かめる。 <p>☆知曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わりについて気づいている。</p> <p style="text-align: right;">(観察・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ここまでに出てきた呼びかけとこたえの旋律を確認し、「行進曲」の2つの旋律の呼びかけとこたえについてまとめる。

(3) 板書計画

10月16日(水)

音楽を形づくっている要素

めあて 2つのせんりつが(よびかけあう)
おもしろさを感じながらきこう。

きょくめい くるみわりにんぎょう より
「こうしんきょく」

よびかけ と こたえ

前時までのふくしゅう

おんがくの
ひみつ
ねいろ
せんりつ

きょくのかんじ
(児童の気づき)

よびかけ (旋律)

こたえ (旋律)

(挿絵) 他動物たち (挿絵) 他動物たち

